



<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

★3月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	あいさつ	ぺこっと頭を下げて「おはよう」、手を合わせて「いただきます」。色々なあいさつを覚えよう!!
1才児	きれいに食べよう	進級に向けエプロンをはずして食事をする。食器を持つ練習をし、スプーンを使ってこぼさず食べるようになる。
2才児	話を聞く姿勢	話をしている人の目をしっかり見て、背すじを伸ばし手を膝において正しい姿勢で聞く。
3才児	自分でやってみよう	ロッカーやお道具箱などの整理整頓を自分でする。ばら組進級に向け、自分でできることを増やしていく。
4才児	もうすぐゆり組!	集中する時とあそぶ時のメリハリをつける。年下の子にはやさしく関わるなど、年長児になる自覚を持つ。
5才児	ゆり組 巣立ちの時	保育園で過ごした楽しかった思い出、経験したこと、諦めない心を胸に自信をもって保育園を巣立つ。

《わくわく保育～しらすぎランド～》

毎年みんなが楽しみにしている『しらすぎランド』 今年も3月8日～12日に行います。今年度最後のイベント、クラスみんなで楽しい思い出作りをします。色々なゲームを通して友だちと一緒にがんばる気持ち、勝つぞ!という気持ちが芽生えることを目指して楽しみます。



～あそびの内容～

- ・乗り物レース … 5才児は手押し車、3・4才児は段ボールの電車に乗ってレースをする。
- ・運動ゲーム … キャタピラ、平均台、カラーリングなどのコースを走り、フラッグを先に取った方が勝ち。
- ・新聞紙あそび … 新聞紙が敷き詰められた部屋を海に見立て泳いだり、中に隠れている宝物を探したりする。

日	8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)
程	もも組	さくら組	すみれ組	ばら組	ゆり組

～ 巣立ち ～

園長 秋保めぐみ

令和2年度、第52期生の25名が巣立ちの時を迎えます。しらすぎ保育園の卒園式には、5つの誓いの言葉があります。この言葉には、生きる力を持った心豊かな人に育ってほしいという想いが込められています。今年もコロナ禍でもあり時間短縮のため、担任が選んだ「自分がされて嫌なことは絶対友だちにはしません」「ありがとう、おはようございます、こんにちは、などの挨拶をきちんとします」の2つの誓いの言葉を発表します。長い間の保育園生活で生きる力の芽を育んだ25名が園庭の楠の木のように大きく枝葉を伸ばし、心豊かに成長してくれると信じて送り出します。卒園生の保護者の皆様、長い間大切なお子さんを“しらすぎ”に委ねて下さりありがとうございました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防策で園の行事、ゆり組独自の行事が中止や変更になりましたことへのご理解とご協力に感謝します。



～ 担任より ～

和田夏実

中村由希

4月、憧れのゆり組に進級したけれど新型コロナウイルスが流行し、みんなが揃ったのは6月でした。保育園最後の年なのに色々なことが制限され、遠足、調理実習などできないことも多く残念でした。でも、運動会や発表会は行うことができ、一生懸命練習した成果を見てもらえて良かったと思っています。みんなと出会ってから長い子で5年、短い子で3年。ニコッと笑いかけてくれたことや、初めて「和田先生」と呼んでくれて嬉しかったことを今でもよく覚えています。みんなとあそび、笑い合い…どれもいい思い出です。

小学校に行ってもたくさん友だちを作って楽しい学校生活を送って下さいね。ゆり組のみんな、楽しい毎日をありがとう。大好き!!

みんなと過ごしたさくら組、ばら組、ゆり組の3年間は楽しくて充実した日々でした。笑って泣いてケンカして、色々な経験をし、心も体も大きく成長しましたね。こんなことができるようになったの?こんなこと知っているの?とみんなから気づかされ驚くことがたくさんありました。運動会や発表会などの行事に向かってがんばる姿、本番は緊張しながらも堂々と演じる姿に成長を感じ、感動しました。いつも元気よく挨拶をしてくれたり、「なかむらせんせーい」と色々なお話をしに来てくれたり、かわいいみんなが大好きです。保育園で経験したことを糧に小学校でもがんばって下さい。応援しています。

★3月のプラン

- 3日(水) ひなまつり
- 6日(土) 大掃除(職員のみ)
- 15日(月) 弁当日
- 27日(土) 第52回卒園式
- 31日(水) 新年度準備日

《園庭開放 中止》

＜編集後記＞

3月9日は「ありがとうの日」ということを知っていますか? 「サンキュー」のごろ合わせになることから制定された記念日だそうです。家族や友だちはいつも一緒にいることが当たり前なので「ありがとう」という言葉を言わなくてもいい相手かと思っっているかもしれませんが、「ありがとう」という言葉を交わすとお互い気持ちがいいものです。家族や友だちを当たり前と思わず、どんな小さなことでも1日に1回でも多く「ありがとう」と言葉にして伝えたいと思います。(安養寺)

＜今月の担当：小田嶋幸恵・安養寺優奈・大久保愛実＞